

「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第4回総合部会 委員意見要旨

No.	項目	発言要旨
1	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の子育てに係る目標指標があってもよいのではない ・経済界の協力も必要な段階になっているが、目標指標となっていると協力が得られやすいのではない ・男性の協力を得るにも、一歩踏み込んだものが必要
2		<ul style="list-style-type: none"> ・企業として子育てに関する制度を整備していくというのは重要だが、特に中小・小規模事業者がどうやって制度化していくかはよく考える必要がある
3		<ul style="list-style-type: none"> ・企業にとって育児休暇等をすぐ制度化するのは簡単ではない ・時差出勤制度を柔軟に導入するという事例があったが、そういった事例は取り組みやすいため、休暇だけでなく、様々な手法で取り組んでいくことにより、企業がマインドを持って行くことに繋がるのではない
4		<ul style="list-style-type: none"> ・男性はやはり子育てが苦手な状況がある中、どのように取り組んでいくか ・休暇や時差出勤等、組み合わせるなど、まずは考え方を広げることが大事
5		<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、子育てと女性の活躍は関連が強いが、両輪で考える必要がある ・同様な項目について、それぞれの指標を統一するなど、意識した施策の作り方をする必要があるのでないか
6		<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少は続くが、地方から都市部に人が流出すると男女の比率がアンバランスになることも ・そのため一つの地域だけで取り組むのは難しくなる ・より広域でマッチングできる仕組みが必要ではないか
7		<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な子育て満足度」レーダーチャートに記載されている全国順位等の表記は、誤解しかねないため、注釈が必要ではないか
8	食の安全 ・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全・安心の各種認証等をすすめる際には、支援をしすぎると本来現場でやらないといけない安全安心のポイント認識が薄くなるので、本来の意味をきちんと踏まえて支援しないといけない
9		<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP取得は小規模なところが取り組みやすいように、項目を絞ってするようになっているがそこをきちんとできてなければフードチェーンから外されることもある ・法律でやらなくていいということまで大分県できちんとやれば、逆に大分県の優位性がとれると思う
10	県土強靱化	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の停電による被害等への対応策について、対岸の火事とならないよう、色々な事例を踏まえ備えていく必要がある
11		<ul style="list-style-type: none"> ・近年は豪雨対策も重要だが、風への対応も必要 ・災害の種類が広くなり、そこから派生する影響への備えが必要 ・今後は、BCPの中に暴風雨への対策が必要
12	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「抗インフルエンザ薬備蓄数」の目標指標について、これは100%を超えると過剰在庫とならないのか
13	農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ・和牛日本一というのはなかなか厳しいものがあるのではない ・畜産業は施設整備等にも費用がかかるなど経営に厳しいものもあるが、産出額の目標は大丈夫か
14		<ul style="list-style-type: none"> ・停電になるとスマート農林水産業は被害を受けるため、その対応を検討しておく必要がある

No.	項目	発言要旨
15	中小・ 小規模 事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の廃業は増えている ・労働投入量がどんどん減っている中、生産性の向上(付加価値の向上)が必要 ・そのためには技術革新(投資)が必要 ・サービス産業はデジタル化が進んでおらず、高齢な経営者は特に進んでいない ・経営者の平均は今や67歳であり、こうした方々をいかに投資に向かせるかが重要 ・オープンイノベーションや競争に加え、高齢者に対するデジタル教育などが必要ではないか
16		<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継の実態把握のためのアンケートを商工会議所で実施しており、回答をみると、60歳以上の経営者が40%、53%が後継者が不在で、そのうち87%が承継したい人がいないという深刻な状況 ・廃業を理由に退会する企業が400社を超えているが、そのほとんどが黒字企業 ・後継者のいない企業がどのくらいいて、どれくらい事業承継できるかという目標値を検討してもよいのではないか
17		<ul style="list-style-type: none"> ・人口は絶対減少していく中、それをキーとしていかに生産性を向上するかということが必要 ・すぐ来てしまうという危機感を持って、企業も行政も取り組む必要がある
18	観光産業	<ul style="list-style-type: none"> ・大分には多くの自然・山があるが、保全には費用が多くかかる ・活用しながら保全するという取組が必要 ・有料のトイレや駐車場、バス停留所などを生かしながら誘客することも必要ではないか
19		<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて、よりよい開発に関する事など、計画の内容において触れることができないか
20		<ul style="list-style-type: none"> ・観光消費額が目標指標になっているが、どういものが含まれるのかが曖昧 ・具体的な定義を明確にしておく方がよい
21		<ul style="list-style-type: none"> ・観光消費を増やすキーワードは3つ(①トイレ、②ゴミ箱、③キャッシュレス) ・商店街の空き店舗等にきれいなトイレを設置すると、その近辺に人が増えていくことも
22	ブランド の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県の生活環境は素晴らしいものであり、ポテンシャルは高いため、相手に暮らしてみたいと思わせるような、伝わる手立てを考えて欲しい
23		<ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド調査の直近は23位と、全国ではそこそこという状況 ・大分県のコンテンツはいいものがあるが、いかに効果的な情報発信をするかが大事 ・今後新たなブランドを形成していく際、「おおいた」という文言を入れるなど、統一感を出すこともよいのではないか
24	共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ・所得格差、地域格差、性別格差などに生じる生きづらさを解消する施策が「安心」 ・今後、国籍による格差にも着目する必要がある
25	働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革について、いかに中小企業等の方々が頑張れる環境をつくれるかが課題 ・商工会議所等を巻き込んで、色々な中小企業等の実施している好事例に、多くの企業が触れることができる機会を増やしていくことが必要 ・中小企業が99.9%という現状では、全ての企業を対象とした施策の検討が必要
26	教育県大分	<ul style="list-style-type: none"> ・今現実に大分県に来ている外国人は中国人や韓国人 ・打って出るには英語が必要と思うが、迎えるためには中国語や韓国語も必要なので何らかの対応をお願いしたい
27		<ul style="list-style-type: none"> ・海外の方と話す際、いかに日本のことを知らないかを痛感する ・大分のこともっとよく知らないと、国内でも説明できない ・学校教育の中でも取り上げる、特に義務教育の中で大分のことを徹底的に学ぶべき ・そういった大分県人を増やすことにより、大分ファンを増やしていくことが大事 ・そうすることによって真の意味でのグローバル人材が育つのではないか
28		<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の出現率について、全国的な状況を踏まえ目標指標が下がっているが、下方修正でよいか

No.	項目	発言要旨
29	芸術文化	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校等への芸術文化に触れる機会の創出は重要 ・一方、目標指標はそれほど上がっていないため、もう少し増やしてよいのではないか ・地方にいと、子どもの頃にこういったものに触れる機会が少ないため、もう少し頑張っ欲しい
30	交通ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドアバウトについて、大分県は他県に比べ、歩行者のために止まらない傾向があると聞く ・交通教育の充実が必要
31	-	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと行政とディスカッションする場所、時間を作っていただきたい
32	-	<ul style="list-style-type: none"> ・目標指標をかなり上方修正しているが、全体としてどう評価されるのか？ ・総合指標のようなものがあるのであれば、そちらも上がる必要があるが
33	-	<ul style="list-style-type: none"> ・大分の県民性である「やさしい」「受容性が高い」ということは財産ではないか ・それはアピールするポイントとしてもあるのではないか
34	-	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を進めると、必ず法律・制度、意識の壁にぶつかる ・これらを変えて行くには常に言い続けることが必要